

## 冬のボーナス、企業規模より“業界”によって明暗分かれる。

ー 経営者・人事担当者向けサービスサイト「[en]パートナーズ倶楽部」アンケートー

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、経営者・人事担当者向けサービスサイト「[en]パートナーズ倶楽部」（<http://partners.en-japan.com/>）上でサイト利用者444名を対象にアンケート調査を行いましたので、以下概要をご報告します。

### ■ 調査結果概要

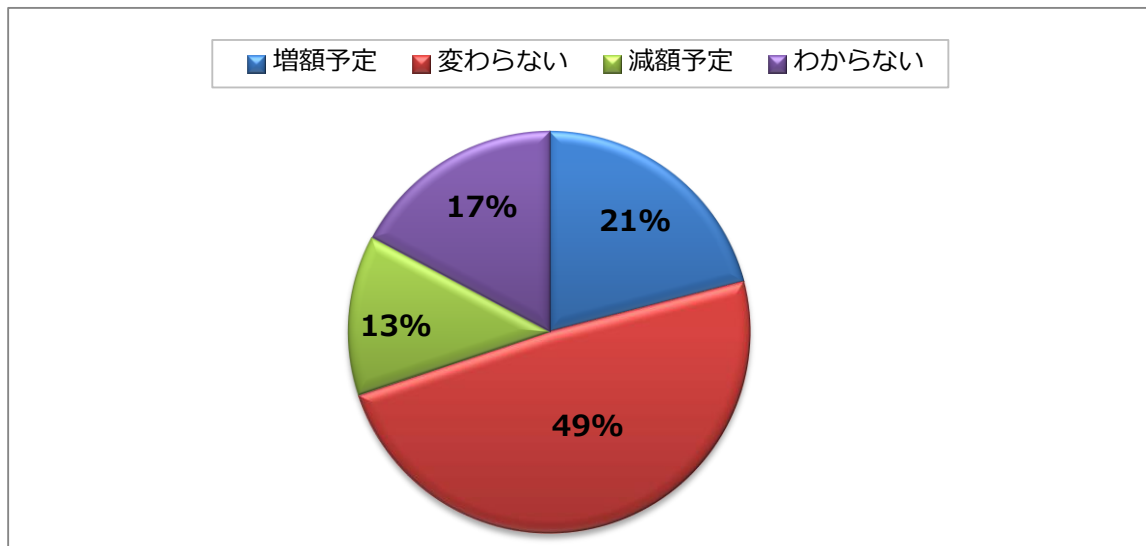
冬季賞与の支給について昨年度との変動について質問したところ、「増額予定」が50%を超えた業界は、金融・コンサル関連。次いで34%のメーカー、30%の不動産・建設関連の順となりました。「減額予定」が「増額予定」を上回った業界は、流通・小売関連、商社、広告・出版・マスコミ関連です。また、リーマンショック後（2008年末）と比較し景気回復が見られるか、という質問については、全体の半数以上が「回復を感じる」と回答。「経済対策を積極的に行っている」「設備投資や新規案件に意欲的な傾向が感じられる」と前向きな理由が挙げられていました。

### ■ 調査結果詳細

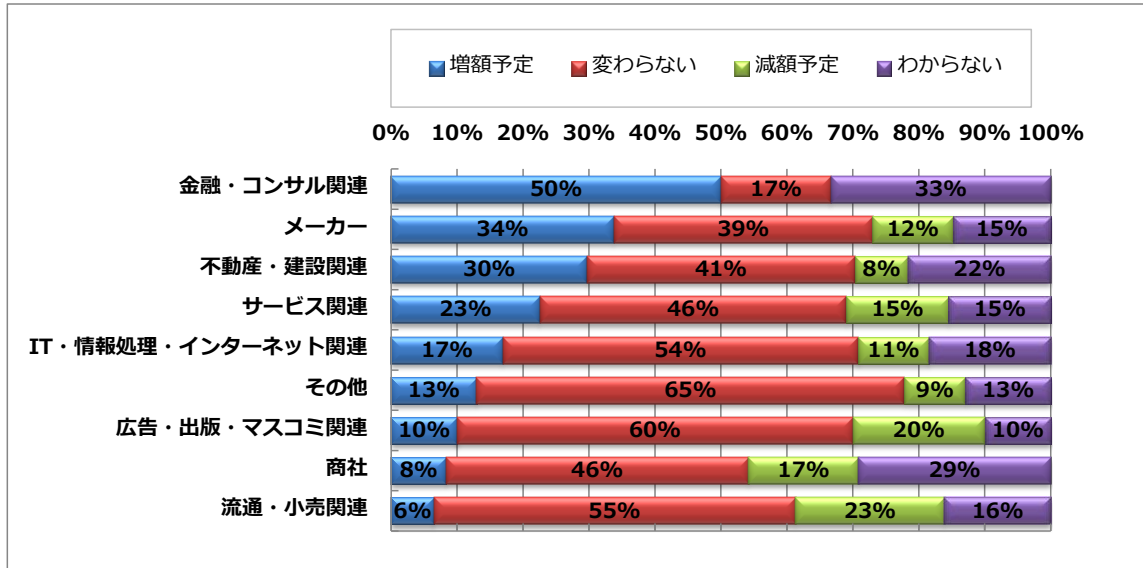
#### 1：2012年の冬季賞与と比較し、今年の支給は「増額予定」の回答は全体の21%。（図1～3）

2013年度の賞与支給額について、2012年度度の冬季賞与と比較をしたところ。「増額予定」と回答した方は21%となりました。「減額予定」（13%）を7ポイント上回る結果となっています。「増額予定」と回答した方の理由をみると、「増収増益」「景気回復」といった理由に加え、「社員のモチベーションアップのため」といった理由も挙げられました。

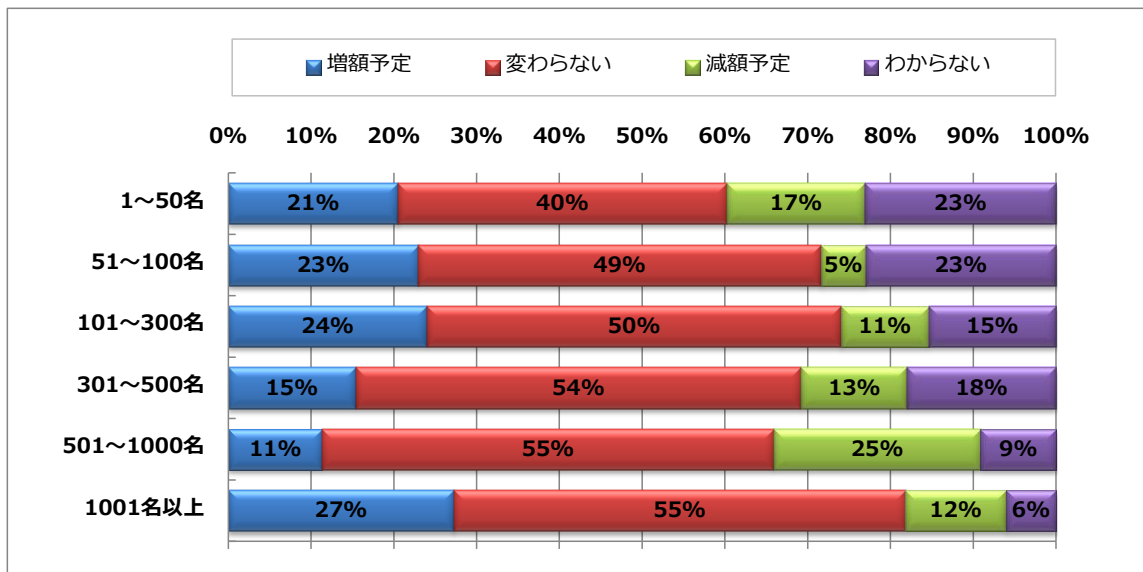
【図1】昨年(2012年)の冬季賞与と比較し、支給額に変動はありますか。※全体



【図2】昨年(2012年)の冬季賞与と比較し、支給額に変動はありますか。※業界別



【図3】昨年(2012年)の冬季賞与と比較し、支給額に変動はありますか。※企業規模別

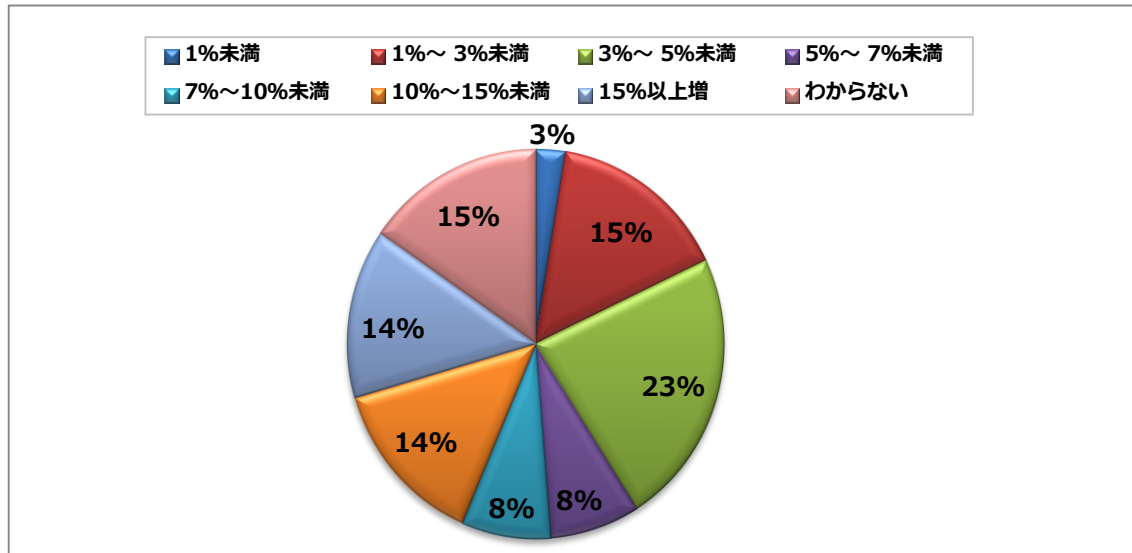


**2 : 2012年の冬季賞与より15%以上増額しそうと回答した方は、「増額予定」と回答したうちの14%。(図4)**

2013年度の冬季賞与が、2012年度の支給額より15%以上増額しそうと回答した方は、図1で「増額予定」と回答した15%のうち、14%となりました。最も多かったゾーンは「3%~5%」で23%でした。

【図4】 図1で「増額予定」と回答した方に伺います。

**2012年の冬季賞与と比較し、何%程度減額しそうですか？**

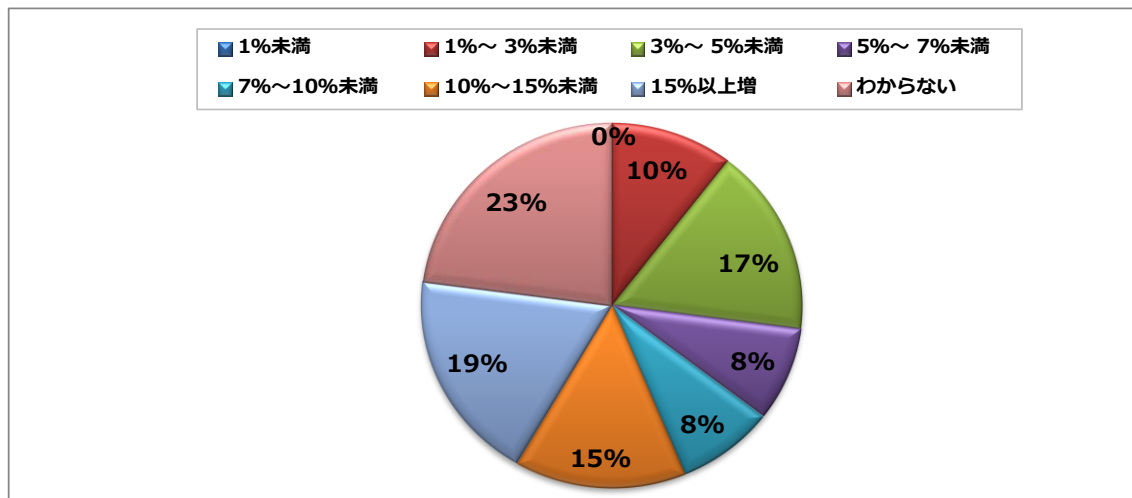


**3 : 2012年の冬季賞与より15%以上減額しそうと回答した人は、「減額予定」と回答したうちの19%。(図5)**

2013年度の冬季賞与が2012年度の支給額より15%以上減額しそうと回答した方は、図1で「減額予定」と回答した13%のうち、19%となりました。

【図5】 図1で「減額予定」と回答した方に伺います。

**2012年の冬季賞与と比較し、何%程度減額しそうですか？**

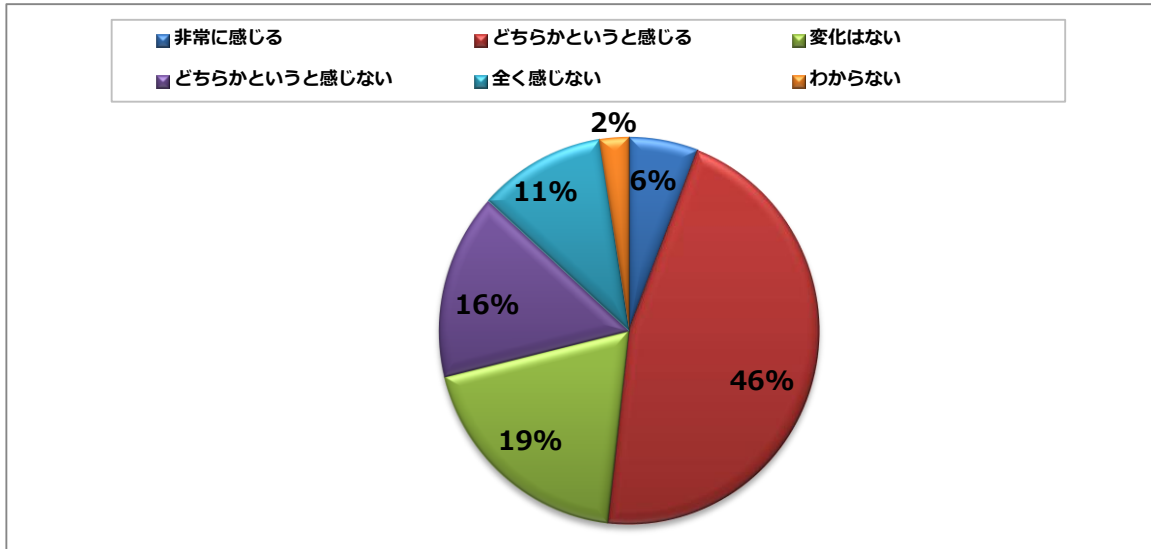


## 4：景気回復について「非常に感じる」は6%、「どちらかというと感じる」は46%。

(図6、コメント1)

景気回復を「非常に感じる」と回答した方は6%、「どちらかというと感じる」と回答した方は46%となり、景気回復を感じている方が過半数を超える結果となりました。

### 【図6】リーマンショック後（2008年末）と比較し、景気が回復傾向にあると感じますか？



**※リーマンショック後（2008年末）と比較し、  
景気が回復傾向にあると感じるかについて各解答の理由****■ 「非常に感じる」と回答された方の理由**

- ・売り上げ増
- ・民主党政権時代に決定した施策が今動いている部分もあれば、いわゆるアベノミクスの効果が即表れている部分もあり回復傾向にあると感じるが、消費税アップ、軽自動車税のアップといった不安要素もあり、需要の先食い感は否めない。景気の減退にならないような政策を次々に打ってほしい。

**■ 「どちらかというと感じる」と回答された方の理由**

- ・経済対策を積極的に行っている
- ・採用が難しくなっている。（求人が増えている）
- ・リーマン・ショック後というよりは、業界マーケットが広がっているため
- ・取引先の動向を伺うに、設備投資や新規案件に意欲的な傾向が感じられるため。

**■ 「変化はない」と回答された方の理由**

- ・全体としては回復基調にあると思うが、個別の業種、業界においては好不調のギャップがかなりある。
- ・案件量に特に変化が見られないため
- ・経営環境が悪化する中、効果の出ているのは、コスト削減のみです。売上げの増加は期待できそうもありません。

**■ 「どちらかというと感じない」と回答された方の理由**

- ・業績低迷や顧客からの厳しい状況が継続しているから。
- ・一時的に回復したように見えたが、給料が増えたなど具体的なものがないので
- ・アベノミクスで回復の期待はあるが、中小企業の弊社にはまだ波及されていない。

**■ 「全く感じない」と回答された方の理由**

- ・中小企業には、まだアベノミクスは無関係
- ・実質的に売り上げがあがらない。経費のみが上がっていく、したがってマイナスが大きくなっていく。
- ・売上は低迷したままで、業務の効率化で改善を見ただけ。

**■ 「わからない」と回答された方の理由**

- ・景気に左右されない業界であるから
- ・リーマンショック後も目立った変化が無かったため。

**【調査概要/ その他の調査項目】**

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：「[en]パートナーズ倶楽部」利用者 444名
- 調査期間：2013年10月9日～2013年11月5日